

生徒会通信 第3号

軟式野球部 乱打戦を制し、定通総体3位入賞！

5月28日（土）小幡緑地公園野球場

3位決定戦

学校名	1	2	3	4	5	6	7	計
城北つばさ	0	4	5	3	4	3		19
刈谷東・通	1	1	2	12	0	0		16

第73回愛知県高等学校定時制通信制総合体育大会軟式野球競技の第2日目が5月28日（土）に小幡緑地公園西園野球場で行われ、本校は3位決定戦で、刈谷東高校通信制と対戦した。



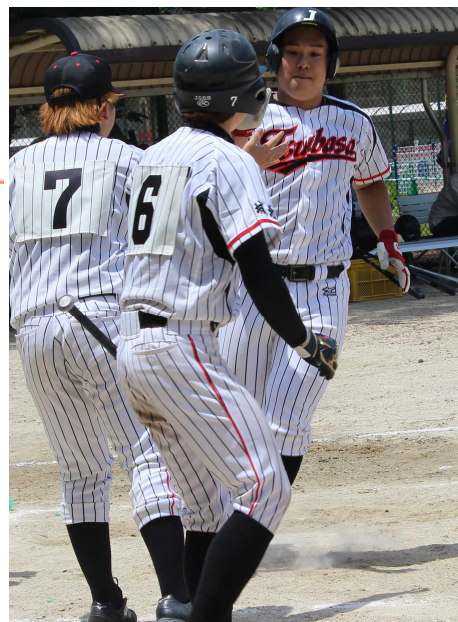
初回到ヒットとエラーで1点を失い、迎えた2回、先頭の4番川合ゴッディがラッキーな形で出塁すると、5番加藤駿弥もヒットで続き、無死1・3塁のチャンスを作る。続く6番小川真司がサードへ内野安打を放ち同点とすると、さらに敵失で逆転に成功する。さらに、無死2塁から、これが公式戦2打席目となる7番山下京介が振りぬいた打球がレフトスタンドへ飛び込む2ラン本塁打となり、リードを広げる。

3回には先頭の2番池田心斗が死球で

出塁すると、3番米山快、4番川合が連続ヒットで無死満塁のチャンスを作る。続く5番加藤が期待に応える2点適時2塁打を放つと、敵失などでさらに3点を加え、この回、一挙5点を奪う。さらに4回には先頭の1番加藤勇翔が四球を選び、1死から3番米山のヒットでチャンスを拡大すると、相手のバッテリーミスで1点を加える。さらに5番加藤が猛打賞となるセンターへの2ラン本塁打を放ち、12点目を奪い、リードを広げる。



楽勝ムードが漂う中、逃げ切りを図りたい投手陣であったが、8点リードで迎えた4回、先発の杉本竜輝が味方のエラーをきっかけに四球を挟んで6連打を浴び、5点を失うと、代わった加藤駿弥も相手の勢いを止められず、3ラン本塁打2本を含む7点を失い、この回一挙12失点とまさかの逆転を許す。



このまま終われない打線は、4点ビハインドで迎えた最終回、1死2塁から2番池田の適時打で1点を返すと、敵失などで2死2・3塁のチャンス作り、一発出れば同点の場面でこの日、猛打賞の5番加藤を迎える。みんなの期待を背に振り抜いた打球は、右中間へ。打った瞬間それとわかる同点3ラン本塁打となり、試合を振り出しに戻す。

その裏、加藤駿弥が相手打線を三者連続三振に斬ってとり、同点のまま延長戦（無死1・2塁からのタイブレーク）に突入する。

タイブレークの初回、盗塁と敵失で1点を奪うと、1死から8番杉本の中前適時打で2点目を奪う。その後敵失などで2死3塁とすると、1

番加藤勇翔がセンター前へ運び、3点差とする。

対する刈谷東は1死から四球を選び、満塁とするも後続の遊飛で2塁走者が飛び出し、これが併殺打となり無得点。19－16と乱打戦を制した本校が今大会を3位で締め



くくった。

前半は試合を優

位に運んだ本校であったが、4回の猛攻で一気に12点を奪われ、4点ビハインドの展開となった時には選手たちも厳しい表情を浮かべていた。

そんな中でもキ

ャプテン加藤駿弥を中心に、最後まで絶対に諦めない姿勢を崩さなかった結果が、奇跡の同点3ラン、そして延長戦での勝ち越し点に繋がったと感じた。諦めずに最後まで戦った選手たちに心から拍手を送りたい。

（文責：鈴木貴之）

